

災害の基本的な知識について知ろう

大雨災害

前線や台風の影響で最近では毎年のように大雨に見舞われており、各地で土砂災害などの災害が発生しています。
雨の強さの目安
 テレビ・ラジオ・インターネットなどの雨量情報に注意して、未然に災害に備えるようにしましょう。



■雨の強さと降り方の目安

1時間雨量(mm)	予報用語	降り方のイメージ	人への影響	屋内の様子
10~20	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声がよく聞き取れない
20~30	強い雨	どしゃ降り		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく
30~50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしてもぬれる	
50~80	非常に激しい雨	滝のように降る	傘は全く役に立たなくなる	
80~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある 恐怖を感じる		

1時間雨量(mm)	屋外の様子	車に乗っている場合	災害発生状況
10~20	地面一面に水たまりができる	ワイパーを速くしても見づらい	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要
20~30			側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる
30~50	道路が川のようになる	高速走行時ハイドロプランニング現象でブレーキが効かなくなる	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要
50~80	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険	マンホールから水が噴出する 土石流が起こりやすい 多くの災害が発生する
80~			雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要



(資料：気象庁(H14.1 一部改正))